

第2号 (平成23年1月1日) 発行:大阪府立急性期・総合医療センター

新年によせて

新年明けましておめでとうございます。皆々様には、清清しい元旦をお迎えのこと と存じます。

昨年を振り返りますと、提供する医療の質を高め、患者さんへのサービスの向上を目指して日々進化する病院を目指す当センターにとりまして、大変実り多い年でした。特に、昨年7月には全国25番目の高度救命救急センターの指定を受けることができました。高度救命救急センターとは、「広範囲熱傷」「急性中毒」「指肢切断」などの特殊な救急診療にも対応するとともに、地域の救命救急医療の中核拠点として、地域全体の救命救急医療のかさ上げに指導的な役割を果たすことが期待されている医療センターのことです。これまで25機関が指定されていますが、大半が大学病院で、大阪府においても大阪大学医学部付属病院、関西医科大学付属滝井病院がこれまでに指定されています。

また、救急分野では、このほか昨年12月に心臓内科、心臓血管外科、神経内科、脳神経外科、消化器内科、小児科の6診療科が二次救急告示病院としての指定を受け、これまでの三次医療に加えて、救急対応が求められることの多い、心臓・循環器疾患、脳疾患、消化器疾患、小児疾患の患者さんを幅広く受け入れることとなり、昨年末には、救急外来棟や救急病棟の改修も完了し、受け入れ体制を整えました。

また、周産期医療に関しては、昨年 10 月に地域周産期医療機関の指定を受けるとともに、脳疾患や心臓疾患など産科領域以外の重症な疾患を併発した妊産婦を受け入れる大阪府最重症妊産婦受入医療機関としての指定も受けました。

こうした救急医療の取組みとは別に、がん医療に関しましても昨年3月から進めてきた定位放射線治療を行う最先端のリニアックへの入れ替え整備も昨年末に終了し、本年2月から稼動開始予定となりました。この導入に併せて腫瘍部分に集中的に放射線を当てるIMRT(強度変調放射線治療)や小線源治療もできるようになります。(小線源は直ちに、IMRTは今秋頃から。)

他方、患者さんへのサービス面では、患者さんがよりアメニティあふれる空間でや

すらぎを感じて治療に専念できますよう、病棟内の談話室等の改修を進める一方、1階エントランスにつきましては、昨年9月にホスピタルコンシェルジュを、10月からは玄関新入路周辺の交通整理と乗降りの介助を行うドアスタッフを配置し、また、本年1月からは1階エントランス全体を、障害のある方もない方も全ての患者さんに「おもてなしとやすらぎ」を体感していただけるような空間に改修するための工事も始まります。

さらに、地域への貢献を主な目的として相愛大学との間で包括的な連携協定を昨年 2月に締結し、連携コンサートの実施や、小児病棟へのインターンシップ学生の配置、 市民を対象にしたセミナーやシンポジウムの開催など様々な事業に取り組むことがで きるようになりました。

このように、昨年は、医療の質の向上、患者の皆様方へのサービスの向上の両面に わたり、多くの成果が生まれた年でありました。

今年は、この成果のうえに立ち、さらに現在の改革路線を推し進め、当センターの 提供する医療やアメニティの質を一層高めることにより「日々進化する病院」との評価をいただけるよう職員一同頑張ってまいりたいと存じておりますので、本年もよろ しくお願いします。

今月のイベント

【9回相愛大学連携コンサート】 1月25日(火) 14時~ 講堂 無料 今月は12月のクリスマスコンサートに続き新春コンサートを開催します。

今月のテーマは、"4ハンズで1台のピアノがオーケストラに"と題してピアノの連弾によるコンサートです。現在相愛大学音楽専攻科に在籍している二人のピアニストが、フォーレの組曲「ドリー」やチャイコフスキーの組曲「くるみわり人形」などを連弾で聴かせてくれます。

【第3回 現代美術空間―病院ギャラリー 企画展開催中】 12月24日~平成23年6月23日 本館2階ギャラリー 無料

現在の第 2 回企画展「中国 江南のみち」に引き続き、須田剋太「街道をゆく・挿絵原画展―信州佐久平のみちほか」を開催しています。

須田剋太は、司馬遼太郎氏に同行しながら、1971年から 1990年に亡くなる直前まで 週刊朝日に連載された「街道をゆく」の挿絵原画を描き続けました。

この間に描いた挿絵 1858 点が他の油彩画等とともに、大阪府に寄贈されました。本作品展は、大阪府立現代美術センターのご協力で実施しております。

【府民公開講座】

3月12日(土)13時~受付 講堂 先着100名 無料

今回は、「子宮内膜症から更年期症状まで〜女性ホルモン薬の新しい使い方〜」と 題して、当センター産婦人科の竹村昌彦主任部長が、お話させていただきます。

【すこやかセミナー】

1月28日(金) 11時~ 保健教室 無料

主に患者さんを対象にしていますが、一般の方もご参加いただけます。

今回は、「心臓弁膜症の最近の治療」と題して、当センター心臓血管外科の高野弘志 主任部長がお話させていただきます。

【やすらぎ通信のメルマガ化】

本「やすらぎ通信」は、本年3月から本格的にメルマガに移行します。(紙媒体の通信の発行も同時並行で行いますが。)

アドレスの登録方法など詳細は、本通信、当センターのホームページでお知らせします。